

一般質問

3月定例会



3月4日～8日の3日間にわたり、13名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載で、内容は各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。



YouTube「飯山市議会」チャンネル

公民連携の推進について



山崎一郎議員

問 新幹線飯山駅の開業から7年となり、足立市政にとっては駅前市有地(ホテル)問題の解決こそが、公民連携手法で解決すべき最重要課題であって、12月議会では「事業者にとっても採算の取れる条件を整え公募する」との答弁であったが、進捗が見られるのかお聞きする。

答 公民連携の課題であると認識し、現在公募条件の整備を進めているが、コロナ禍のために市場や経済が大きな影響を受けているので、時期については状況を見極め判断して参りたい。

問 4月から千曲荘が空き状況になり、公民連携手法であるサウンディング調査方式での活用策を検討するようだが同時に空き状況となる「あきは保育園」の跡地も、同様な手法で活用策を検討すべきと思うが検討状況はどうか。

答 活用策は未定であって今後どのような活用方法が良いのか検討し、その中で、民間での活用が望ましいということになったら、サウンディング調査等の手法も検討したい。

もっと上手に情報発信を!!



久保田幸治議員

問 様々な自然エネルギーの中で3年度は何を選択し活用するのかわかりませんが、「雪エネルギー」の活用を進めていく。

答 生分解性マルチフィルムの補助事業の取り組みはどの事業で、どのくらい補助するのか。

問 農業振興対策事業の中に環境負荷低減農業推進補助金としてマルチフィルム1本千円を補助。

答 道の駅、農産物直売所を拡張し、農業・食事・アウトドア等の拠点施設を整備するところがあるが、拡張によって次につながる展開は。

問 アクティブエイジ拠点を新設し、農業と観光を効果的に融合させ、地域一帯の経済波及効果を生み出す「産業振興の拠点」としたい。

答 協働のいじしゅうぜん事業は重機の借り上げ支援だけでなく地元と職員が共に作業しては。

問 道路河川課直営作業との効率的な維持作業については各区との作業計画段階で相談・検討したい。

答 若者住宅入居者が、将来購入できるよう条例改正する考えは。研究していきたい。

健康づくりへ歩道除雪拡充を



高山恒夫議員

問 人口減対策へ転入超過の取組みは。

答 コロナ禍での移住需要も踏まえ企業誘致と併せた移住施策を展開する。

問 「子ども家庭総合支援拠点設置事業」の内容は。

答 すべての市町村に機能設置が位置づけられた。相談室に家庭児童相談員を1名増員し、相談室長が虐待対応専門員を兼ねる新たな体制強化を図る。

問 歩く健康づくりへ歩道除雪拡充を民生部から声を上げたらどうか。

答 年間を通じて市民の健康維持増進に向けて研究したい。

問 三か年事業計画での「持続可能な集落活動事業」とは。

答 令和4年度から集落の集会所施設の維持修繕へ新たに補助事業を準備している。

問 菜の花公園の連作障害等について対応するか。

答 咲かない原因はダイコンサルハムシによる新芽の害害と連作障害と推測している。堆肥の投入や薬剤散布、菜の花以外の作付けなどで菜の花畑の維持に努めたい。

ワクチン接種、駅前ホテル、新しい小学校



松本淳一議員

問 新型コロナウイルスのワクチン接種は高齢者から接種するが、副反応や後遺症が心配だがどうか。

答 厚生労働省の承認を受けたワクチンであり副反応の報道は承知している。予診、経過観察など十分な取り組みがされて実施となる。

問 ワクチン接種を受けない場合罰則はあるか。

答 罰則等はない。併せて接種の強制や接種を受けていない人に差別的な扱いをすることがないよう厚生労働省でも周知している。

問 駅前ホテル誘致の現状について、6年前より2者と交渉したが不成立。3度目の新募集要項はまだ公表されていない。発表については、コロナの状況を見て判断するということではどうか。

答 はい、そのとおりです。

問 小学校は南北2校に統合の方針だが、これからの教育の形を示してほしい。校舎は木造にして林業活性化を、太陽光エネルギー利用で二酸化炭素削減を望むがどうか。

答 総合的に検討を進めたい。

問 雪下ろし作業中の事故について市の受け止めは。

答 市報や防災無線で注意を呼び掛けている。融雪降雪型屋根や、命綱固定アンカー設置に関して補助金を交付している。また、必要のある市の施設に命綱固定金具等を設置してPRを進めたい。

冬の生活環境について



吉越利明議員

問 高齢者世帯への予防啓発や県の環境配慮型住宅助成金を周知していく。市の独自支援に関して研究を進めたい。

答 ヒートショックの考えは。

問 令和4年度より集落の施設改修補助を検討。また移住者と移住者を受け入れる集落との連携が何よりも重要。

答 令和4年度より集落の施設改修補助を検討。また移住者と移住者を受け入れる集落との連携が何よりも重要。

問 ワクチン接種の進め方は。接種対象者の順位を決定し、順次ワクチン接種券の配布を行っていく。国からのワクチンの数量を確認しつつ、できるだけ速やかに開始をしたい。接種会場に来る事が困難な方への送迎など、交通手段については検討をしている。

問 高齢者等玄関先除雪の対応件数はどのくらいか。

答 211世帯が対象世帯。機械も燃料も保険も自前なので、今の手当は少ないのではないかと。

問 他自治体の調査などで今の金額とした。今後除雪支援員や対象世帯からの要望を伺う中で、研究課題としたい。

問 コロナ禍、スキー場の支援を。2月13、15日のリフト無料キャンペーンは効果があったと思うが、入込客数、宿泊延べ数はどのくらいあったか。

答 この期間のスキー場の入込は斑尾高原7283人、戸狩温泉5613人。宿泊延べ数は把握できていないが、前の週の週末に比べ若干の増加が見られたことである。

高齢者等玄関先除雪の手当をもっと手厚く



飯田健一議員

問 菅政権のここ数カ月の動向は、国民にはコロナ禍のもと、自助、自粛を求めながら、政権の官僚の接待疑惑、贈収賄事件、女性蔑視発言など、不信が広がっている。その一方で「声をあげれば政治は変えられる」との認識もコロナ禍を経験して広がっている。菅政権をとりまく国の動向をどう評価しているのか。

答 いま最大の課題はコロナ感染症対策だと思ふ。その中で世界の状況を見ると、日本は人口比でみて約0.4割である。客観的に見て日本の場合よくやっていると認める。

問 令和3年度施政方針と新年度予算案について

問 新年度予算について、新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守り、苦難軽減に全力を尽くすことが求められるが新年度予算の特徴は。

答 一般会計総額は、141億9000万円、前年度比1.9割減であるが、ほぼ同規模の予算総額となっている。新たな事業としては「道の駅」拡張事業や新たな小学校づくり事業が挙げられる。企業誘致移住支援事業や出産特別給付金など予算化している。

問 宿泊に結び付くようにと各スキー場と協議をしている。また、いよいよ泊まるようキャンパーン事業として宿泊を含めた各種割引クーポン券、宿泊者限定の割引リフト券を発行し宿泊者の増加を図ってきた。

問 県の施策と整合した、宿泊に結び付く様な支援はできないか。

答 宿泊に結び付くようにと各スキー場と協議をしている。また、いよいよ泊まるようキャンパーン事業として宿泊を含めた各種割引クーポン券、宿泊者限定の割引リフト券を発行し宿泊者の増加を図ってきた。

一般質問

問 コロナ禍の観光振興について

答 春からの観光、また残されたスキーシーズン中を含め厳しい窮状に対する支援策を検討できないものか。

問 2月に長野県民限定のスキーリフト券無料デーが実施され、今シーズン中に再度同様の企画を計画している他、春以降の観光誘客促進に向けた支援策等についても観光事業者の皆様のご意見をお聞きしながら早急に検討する。

問 インターハイの開催について感謝の声が多く聞かれるが市長の思いは。

答 参加した選手、監督、コーチ、競技役員の皆様感染症対策にご理解ご協力をいただき無事大会を終了することができ感謝申し上げます。戸狩温泉スキー場・宿泊事業者の皆様にも徹底した対策をとっていただき大変有難く思っています。

問 競技役員育成は。

答 飯山の発展・歴史文化との関係を理解し、大会に従事して支える事を自負できる人材、また競技や役員経験者を育てることが大事。飯山市スキークラブの存在が非常に大きい。



水野正彦議員

一般質問

問 治水対策の中で、蓮沖の遊水地については大切な事業であるので、市も地元と一緒になり進める事が大切だ。

答 飯山盆地を守る上で重要な対策である。地元と一緒に考えながら、国と密接に連絡を取り事業推進に当たりたい。

問 戸狩狭谷部の河床掘削事業は、蓮上川からの土砂が川幅いっぱい自然堰を形成しており、掘削の効果は期待できない。この土砂を除去すると下流へ影響が及ぶと思うが。

答 国から「国・県・流域市町村と連携を取り県が整備を進める区間との上下流のバランスを計り総合的に対策を取る」との返答だが、河道掘削により県管理区間でどれだけ水位が低下するかが明確にしていない。この事からも国による一元管理を今後も強く要望していく。

問 いじしゅうぜん事業の草刈りや泥上げへの助成内容は。

答 市道や準用河川での作業の機械の借上料や燃料費が対象。

問 バイオマルチへの補助は評価する。環境面等考えいまい一段の補助率アップを求める。

答 実績を見て検討したい。

治水対策・いじしゅうぜん事業 農業環境対策



佐藤正夫議員

地域おこし協力隊員に移住希望者



上松永林議員

問 「3年度予算案」

答 予算では23億4千万円である2年度の市税収入予想は。

問 コロナ禍ではあるが予算を超過24億4千万円を予想。

問 予算編成方針の新しい生活様式を踏まえた事業とは。

答 コロナに強い社会環境整備・新たな暮らしのスタイルの確立・新たな付加価値を生み出す消費投資の促進を総合的に展開する事。

問 新年度市税減少額予想は。

答 2年度比で8千2百万円程度の減収を予想。

問 固定資産税評価の変更は。

答 3年度に評価替えをする。

問 企業支援に予算を。

答 事業者の業績が厳しい事は認識している。事業の継続と経済の回復に向けた消費喚起等の施策を検討する。

問 「地域おこし協力隊」

答 地域おこし協力隊の現況。26年度より12名任命、現在5名、定住者は3名。

問 起業意欲のある移住希望者を地域おこし協力隊員に採用してはどうか。

答 起業等支援事業補助金交付要綱を定めてある。

少子・高齢化対策について



岸田眞紀議員

問 新年度予算に「結婚新生活支援事業」が計上されている。少子化対策の事業かと思われるが、どのような事業なのか。

答 新生活を経済的に支援することにより、婚姻数の増加と少子化対策の推進を目的としている。対象世帯は夫婦の婚姻日における年齢が39歳以下で、前年の夫婦の所得の合計額が400万円以下であることが条件で、住宅の購入費用、住宅の賃貸借費用、引越費用で30万円を限度としている。

問 ジュニアスポーツ振興対策

答 ジュニアのスポーツ振興については、スポーツ協会やスポーツ少年団との連携が必要だと思ふがどうか。

問 働き方改革の流れが非常に大きくなっている。特に中学校での部活については色々な制約が出てきたのが実情である。スポーツ少年団10団体に所属する小学生は350人おり中学生を入れると400人を超える。それを指導する認定を受けた指導者は現在83名がいて非常に大きな役割をはたしている。

令和3年度予算及び介護保険事業計画について



渡辺美智子議員

問 新型コロナウイルス感染症による市民生活や生業についてどのように把握しているか。特に生活困窮者が増えている。市民全員に届くクーポン券の発行を。

答 市民生活に大きな影響を与えており、市の最優先課題と認識している。これまでに事業継続や生活支援等、市の独自事業に取り組んできた。今後どのような支援が必要か全体で検討していく。

問 介護予防教室が1年間実施されていない。どのような状態になったら実施するのか

答 高齢者のワクチン接種の進捗状況や県内外の感染状況に加え、専門家の意見等も参考にしながら慎重に判断していく。

問 第8期介護保険料約4.2割増、基準額月5998円になりコロナ禍で大変。据え置かれることは出来ないか。負担割合が収入の低い層ほど重くなる。

答 基金の多額の取り崩しにより出来るだけ保険料を抑えたいと考えた。所得がゼロになる場合も保険料の負担は生じる。可能な限り低所得層の負担を下げる努力をしている。

千曲川の治水対策について



石田克男議員

問 2月23日の信毎に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト・千曲川立ヶ花・戸狩地区狭谷部河道掘削を開始」という記事が掲載された。足立市長の感想をお聞きしたい。

答 緊急対策プロジェクトにより河道掘削が始まったことに対しては感謝している。しかし、国へは、上下流バランスに十分配慮しながら、慎重に整備をしていただきたいと考えている。

問 昭和57年58年と2年続けて甚大な被害を受けた住民としては、湯滝橋上下流をも少し浚渫あるいは、掘削してほしいとの声が強くなるが、市の考えをお聞かせ下さい。

答 今回の掘削ヶ所は湯滝橋上流500mほどの所。国では、湯滝橋上下流の掘削は、現時点では河道掘削の必要性はないとの見解。しかしながら、掘削を求め意見、各所からうかがっているため、国、県に対し十分な調査、検討を行うとともに、必要な河道掘削を実施していただくよう要望したい。

本会議を傍聴する方へお願い (新型コロナウイルス感染拡大防止について)

本会議については「iネット飯山」での放送および「YouTube」にて動画配信を行っております。本会議を傍聴される方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。(入場者数の制限あり)

令和3年6月定例会
会期日程 (予定)

- ◆ 招集・議案上程 6月7日(月)
- ◆ 一般質問 15日(火)
- ◆ 各常任委員会審査 17日(木)
- ◆ 委員長報告・採決 22日(火)
- ◆ 委員報告 24日(木)

本会議を傍聴された方からのご意見

本会議を傍聴された方のおふたりからご意見をいただきました。ご意見をいただいたことに御礼を申し上げますとともに、議会としての考え方を説明します。これからも多くの皆様からご意見をいただきますようお願いします。 議会だより編集委員会

【意見】 飯山市はもっと雪の利用を積極的に進めてほしいと願っている。融雪水による冷房利用などの可能性のみならず、道の駅にも雪エネルギーを利用した施設もあればと思う。

議会の討論をもっと市民が知る機会を作ってほしい。また事前に詳しい質疑の内容についての情報が欲しい。

【議会としての考え方】

雪エネルギーの利用は、飯山の持つ資源であること、脱炭素社会の構築という世界のニーズにも適合することから、多くの議員がもっと活用すべきと考えております。これからは一般質問・委員会審議を通じて市側に活用を求めていきます。また各議員の質問通告の内容は市報や市のホームページを通じてお知らせしておりますが、より分かり易いお知らせの方法等をさらに検討していきます。

【意見】 議場の各々の議員に活気がない。他の議員の質問に対し集中して聞いていない議員がいる。傍聴者が多くなるよう考えなくてはいけない時期に来ている。

【議会としての考え方】

より多くの市民の皆様が傍聴に来ていただきたいと考え、飯山市議会でも「休日議会」を実施した経過もあります。現在は、iネット飯山での放送をしておりますが、飯山市議会では市民の皆様が「何時でも」、「どこでも」一般質問が見られるようにと本年3月定例会から一般質問をYouTubeで見ただけのようにいたしました。今後も良い方法を検討していきます。議場内での態度については、ご意見をいただいたことを全議員に周知します。

飯山市議会本会議の動画を配信しています

☆ 受信方法

- 飯山市議会ホームページ 本会議動画配信ページ
- YouTube「飯山市議会」チャンネル

こちらのQRコードから

チャンネル登録をお願いします!